

2015年7月31日

## 福島青年管弦楽団のための東京音楽研修 2015

- 【期間】2015年8月4日(火)～21日(金)  
 【対象者】福島にて楽器を演奏する中高生 51名  
 【主催】Keys of Change キーズオブチェンジ  
 【後援】福島市教育委員会、福島県教育委員会  
 ブリティッシュカウンシル、国際交流基金  
 【助成】ウィーン・フィル&サントリー音楽復興基金  
 【協力】日本フィルハーモニー交響楽団、桐朋学園大学



### 【事業概要】

Keys of Change が中心に、その活動に感銘・共鳴した日本フィルハーモニー交響楽団、桐朋学園大学生など、国内外のプロオーケストラ奏者が福島に渡航し、福島の中高生と大規模な音楽交流を行う。交流の集大成として、福島市音楽堂および東京オペラシティでの共演コンサートを行う。東京での研修には、コンサート鑑賞、音楽家との交流を含む。

福島 2015年8月4～18日、東京 8月19～20日。

### 【事業目的】

- ① 福島の中高生 51 名が、国内外のクラシック演奏家との協働を通じて、演奏技術を飛躍させ大舞台での成功体験を味わうことで、これからの人生を自分の手で切り拓いていくための自信や強さを手にすること。
- ② 同学生が地元市民のために演奏し、自らのコミュニティに貢献する意義とやりがいを学ぶこと。
- ③ こうした活動を息長く続けることの重要性を、広く多くの人に理解してもらうこと。

### 【協力音楽家】

Keys of Change 側より

- ① パノス・カラン ギリシャ生まれの英国人。ピアニスト。Keys of Change の創設者。
- ② ザック・タルパゴス ギリシャ出身のフルート奏者。Keys of Change 理事。
- ③ サンジブ・モンダル インドコルカタ市出身のバイオリン奏者、指揮者。コルカタ青年オーケストラ代表。
- ④ デレク・ロビンス ハーバード大学博士、科学分野のフェロー。ホルン奏者、ジャズピアニスト。
- ⑤ ジェシカ・ヘインズ 英国バーミンガムの音大卒、バイオリン奏者。
- ⑥ ランジャン・ビシュワス インドコルカタ市出身のビジネスマン。バイオリン奏者。コルカタ青年オーケストラマネージャー。

日本側より

- ⑦ 指揮者： 本名徹次 福島県ご出身。国内外で活躍される指揮者。
- ⑧ ヴァイオリニスト： 大谷康子 国内外で活躍されるバイオリニスト。
- ⑨ 日本フィルハーモニー交響楽団より奏者 5 名 (「被災地へ音楽を」の活動の一環)
- ⑩ 桐朋学園大学より奏者 6 名

### 【福島青年管弦楽団の出演コンサート】

<福島>

日時:8月18日(火)18:30 開演 18:00 開場

場所:福島市音楽堂大ホール

<東京>

日時:8月20日(木)19:00 開演 18:30 開場

場所:東京オペラシティコンサートホール

### 【福島青年管弦楽団ファンレイジングのための 弊団体音楽家によるチャリティーコンサート】

<名古屋>

日時:8月1日(土)14:30 開演 14:00 開場

場所:スタジオルーチェ A

<東京>

日時:8月3日(月)19:00 開演 18:30 開場

場所:サントリーホール(ブルーローズ)

## Keys of Change キーズオブチェンジ について



団体 HP(英語) <http://www.keysofchange.org>

### 【団体概要】

Keys of Change はイギリス籍の団体であり、クラシック音楽の演奏や共演を通じて世界中の人々をつなぎ、難しい環境に生きる人々が自分の人生を切り拓いていく勇気と自信を手にするを目的に活動している団体です。2011年、ヨーロッパでプロとして活動するクラシック音楽家有志によって立ち上げられました。

これまでに、インド、ペルー・エクアドルのアマゾン河流域シエラレオネ、ウガンダ、ギリシャ北部の少数民族居住区、ロシアのシベリアで、青少年を対象にした音楽教育活動を行っています。

2011年8月以降、音楽家らが6回にわたり来日。東日本大震災被災地の約70カ所でクラシック音楽の演奏会、チャリティーコンサートや学生との合同演奏会を行い、多くの人々の心を癒しました。

### 【福島県の中高校生とのあゆみ】

- 2011年8月 ピアニスト パノス・カランが宮城県と福島県の避難所や仮設住宅、病院などを訪問  
福島市では蓬萊中学校体育館での演奏交流会
- 2012年3月 パノス・カランが訪問 リハーサル2日間ののち福島市音楽堂にて合同コンサート
- 2012年10月 パノス・カランとピアニスト ラウル・イメネス、フルート奏者 ザック・タルパゴスが訪問  
福島第二中学校および福島第一中学校にて演奏交流会  
南相馬市で2校の高校生とリハーサル5日間ののちさくらホールにて合同コンサート
- 2013年3月 パノス・カランとザック・タルパゴスが訪問  
福島市の4校の中学校とリハーサル3日間ののち福島市音楽堂にて合同コンサート
- 2014年3月 パノス・カランとザック・タルパゴスが訪問  
リハーサル15日間ののち福島市音楽堂にて合同コンサート  
福島青年管弦楽団代表37名が教員2名らとともに、8日間の音楽研修旅行としてロンドンに渡航。ロンドンのサウスバンクセンター・クイーンエリザベスホールやキングズ・プレイスでオルフェウス管弦楽団の奏者22名と共演。BBCニュースにも出演演奏
- 2015年3月 パノス・カランが訪問 南相馬市の小中学校5校にて音楽授業

### 【創設者パノス・カランの福島事業に対する想い】

「2011年8月に初めて日本に来た時には、この訪問が被災された方への訪問演奏という一度きりの事業となる予定でした。その時は、福島の方々からこれほどまでの感銘を受けることになるとは私自身思っていなかったからです。多くの生徒さんとステージでラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番を演奏したことは、私の音楽家人生で最も輝く瞬間の一つだったと思います。もちろんこの曲はプロのオーケストラと何度も演奏した経験のある曲でしたが、あのステージでは、福島の子供さんたちが発信する、演奏したい、つながりたい、うまくなりたい、音楽を通じて成長したい！という、ただただ純粋な強い想いのせいか、全く違う曲のように聴こえたのです。

大成功に終わった2013年のロンドン研修旅行も、今年の東京でのコンサートも、生徒さんらの地元福島からは遥か遥か遠くの、何か得体の知れない大きすぎるイベントに思われるかもしれません。しかし、今後も事業を継続できるよう大きな支援を得るという目的のためには、大都市の大会場での露出はとても重要なことです。個人レベルを越えた支援、スポンサー、メディア、国内外の有名音楽家、他の多くの方々のサポートなしには、事業自体の継続が危ぶまれるからです。私の夢は、福島の子供さんたちが、これからも、2011年の震災など遥か昔に忘れられてしまったような次の世代を生きる中高生の方々のためにも、「初代ラフマニノフ第2番」の経験、すなわち「音楽を通じて人間的に成長する経験」を得る機会を作り続けることです。」

【これまでに Keys of Change の音楽事業に参加した生徒・保護者の方々からのメッセージ】

南相馬から転校してきた不安だらけの僕に勇気くれたのはいつも音楽でした。音楽に感謝し演奏します。(当時中学2年 K.T.さん)



3年前震災が起こり、色々自由がきかない時期もありましたが、周りの人達の支えがあり乗り越えてくることが出来ました。そして今回このような演奏会に参加出来ることになり、感謝の気持ちでいっぱいです。(当時中学2年 M.O.さん)

福島に滞在中は、田中さんをはじめパノスさんやザックさんの貴重な時間で、連日に及ぶ熱心なご指導をして下さり、本当に感謝しております。おかげで色々な経験をさせていただくことができ、一回り成長することができました。また、毎日の田中さんのメールで、ロンドンでの子供達の様子を拝見することができました。心配な気持ちが、安心な気持ちになりました。娘の土産話が尽きないので、とても充実した日々を過ごしたのでしょう。(A.T.さんのお母様)



ひとまわりもふたまわりも成長して帰国した娘にびっくりです。(E.M.さんのお父様)

娘は福島での練習の段階から、プロの音楽家の方々に直に教えていただいている事が夢のようで、毎日毎日「こんなに楽しい日々は生まれて初めて!」と言っていました。パノスさん、ザックさんの温かいお人柄と熱意に感銘していましたが、中学

生ながらも、田中さんの行動力や的確さにも良い意味で衝撃を受けていました。

娘は「また日本に行くから」というお二人のお言葉を励みに、夢から覚め通常の学校生活を送っています。keys of Change の皆様にまたお会いできる事を信じています。(R.Y.さんのお母様)

震災以降、本当に周りが今後どうしていいかわからなく気持ちが揺れている生活が続き、その中で、我が家では1番小さい●●が1番しっかりと自分の意思を持ち、音楽を続けた結果だと思えます。(K.T.さんのお母様)

避難所での生活や放射線での制限された生活があつての今回の貴重な体験となりました。まだまだ福島では見えない放射線との生活でうちの4歳はほとんど外で遊んだ事はありません。子供は甲状腺ガンの検査も続いています。日本の国内では、そんな生活が続いている事すら忘れられています。遠いイギリスで、まだ気にかけてくださる方がいて大変ありがたいです。(M.S.さんのお母様)



事前のご指導、渡航に関するご配慮、ロンドン滞在中の詳細なご報告など、全てにおいて私どもの想像をはるかに超えるご支援であり、息子が帰路に着くまで、大きな不安はありませんでした。

皆様のおかげにより得た経験は、息子を一回りも二回りも大きくさせてくれました。大舞台での演奏はもとより、高い目標であっても努力によってそれに近づくことができることや、皆で力を合わせて成功を遂げる喜びを知ったことは、親としても本当に嬉しい限りです。生涯忘れることのない日々となったに違いありません。ここまで頑張れた自分に自信と誇りを持って、これからますます飛躍してくれることを期待したいと思います。私のつたない言葉では感謝の気持ちが伝えきれずにもどかしいのですが、この文面の100倍くらい感謝しております。

(I.K.さんのお母様)